

戦 評

大会名 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会岩手県予選会

男子・女子 準決勝・決勝

会場名：盛岡大学体育館

主 審：大山 幸司

副 審：山岸 恵子

試合結果

岩手大学 0 $\left\{ \begin{array}{l} 22 - 25 \\ 16 - 25 \\ - \end{array} \right\}$ 2 盛岡大学

試合時間 時間 42 分

戦 評

決勝戦はどちらも初優勝を目指す大学生対決となった。

両チームともセット序盤から一進一退の展開が続いていたが、20点を過ぎたところで

盛岡大学主将戸羽のレフト攻撃と1番館沢のサービスエースで一気に得点を重ね第1セットを先取した。

第2セットは、岩手大学16番小野寺の好レシーブと3番西洞、4番橋本を中心にした攻撃で攻めるも

堅固な守備に阻まれるとともに、盛岡大学がサイド攻撃を多用して得点を重ねるとこのセット

も連取し悲願の初優勝を果たした。

戦評者：塩井 和幸

岩手県バレーボール協会 審判委員会